



令和4年度四国環境パートナーシップオフィス 管理運営等業務報告書(概要版)

四国環境パートナーシップオフィス（四国EPO）

受託団体

特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク



1 四国EPO関連業務

(1) 中間支援機能の強化

(2) 相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、四国地域の優良事例発信

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

(1) 中間支援機能の強化

各県サテライトデスクを拠点とした体制により、県が主催する委員会の委員や審査等への協力、多様な主体との協働で事業を実施

→ 相談対応に活かせるニーズやシーズなどの情報収集、関係性が構築できた。



7月29日
「令和4年度第1回高知県環境審議会」
(オンライン)



12月18日
6主体共催による気候変動講演会
(香川県高松市)

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

ア 相談対応

企業からの研修依頼や相談対応が増え、今まで以上にSDGsや脱炭素への機運の高まりを感じる1年だった。行政との連携により相談対応から発展的展開につながった。



8月8日
企業の取組方向性に関する相談
(オンライン)



9月16日
今後の活動展開について意見交換
(オンライン)

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(ア)Webサイト等の活用(ホームページ)

- 掲載数:884件(平均73件/月)
(掲載依頼97件、情報収集787件)
環境省や各県HPから収集した
イベントや助成金情報などを掲載
- 閲覧ページビュー数(累計)
57,500件(平均4,791件/月)

Facebookも
埋め込み



(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(ア)Webサイト等の活用(ホームページ)

イベントカレンダー



日ごとに確認ができるように
カレンダー形式で掲載

SDGsや協働を
テーマとした
図書を登録・貸出

環境教育

四国地方あるいはESD環境教育に関する図書・資料・教材等を随時掲載しています。

◎2023/01/23 **SDGs自治体白書2022 真のSDGsに取り組む秘訣**
 出版年月: 2022年11月 発行・出版元: (株) 国体会議 分類: 図書
 本書では、真のSDGsとは、TOPIC (Target: 目標設定、Outcome: アウトカム、Partnership: 協働活動、Inclusion: 包摂性=誰一人取り残さない、Complexity: 複合性)のいずれの要素も満たした取組を「真のSDGs取組」と定義し、真のSDGs自治体に取り組む秘訣を示した。

他、脱炭素社会を目指すエネルギー事業とそれに伴うTOPIC、自治体、市民・企業のSDGs対応活動、活動人口の確保と紹介、調整の意義や取組内容やプロジェクトの進め方まで導かれたエピソードが紹介されている。
 (本書「はじめに」参照)

◎2022/12/28 **未来の授業 SDGsパートナーシップBOOK**
 出版年月: 2022年12月 発行・出版元: (株) 国体会議 分類: 図書
 本書では、SDGsについての知識を深めるだけでなく、多様な主体が関わり合いながら課題を解決するために必要な「パートナーシップ」の導入方や取組事例について、学ぶことができます。また、身近な社会問題に针对、課題の基本情報や課題を深く考えるためのヒント、関連する国連持続可能な開発目標の紹介、パートナーとのプロジェクトを進めようとするための潤せられたエピソードが紹介されています。

◎2022/11/30 **ずっと住み続けたい町**
 出版年月: 2022年10月 発行・出版元: 国体ソロギアリスト 分類: 図書
 「人と人がつながって心を通わせたとき、豊かな未来の町は築かれる」国体ソロギアリスト事務局は、定例会議で多くの出会いを蓄積してその活動を支え、応援し、次のステップにいがなろうと

【関連図書の紹介】

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(ア)Webサイト等の活用(メールマガジン)

- ・ 配信数 12件(平均1件/月)
- ・ 配信者数 998人

コラム、HP掲載
内容を取りまとめ
た内容で構成

☆☆*。 _____
2. イベント情報・募集情報など _____。☆☆*

【徳島県】
■木のおもちやで遊ぼう！ (1/9)
<https://4epo.jp/information/events/27269.html>

■NPOの活動にSDGsを取り入れよう！ (1/14)
<https://4epo.jp/information/events/27096.html>

■とくしま県民活動プラザが、自然派志向NATURAL & NATURE 1月号についてお知らせ
<https://4epo.jp/information/notice/27238.html>

■徳島県が、令和4年度リサイクル製品・3Rモデル事業所を募集 (11/1~1/20)
<https://4epo.jp/information/notice/26842.html>

■徳島県が、令和4年度「気候変動」×「防災」対応設備導入支援事業補助金の公募についてお知らせ
<https://4epo.jp/information/notice/27381.html>

■徳島県が、「とくしま生活排水処理構想2022~未来につながる水環境を目指して~」の策定についてお知らせ
<https://4epo.jp/information/notice/27334.html>

【香川県】
■令和4年度 国営讃岐まんのう公園 インタープリター・ボランティア養成講座 (6/19~2/12) (~6/12※締切日以降も随時受付)
<https://4epo.jp/information/notice/25251.html>

■第74回自然エネルギー100%社会学習会 (1/10)
<https://4epo.jp/information/notice/27337.html>

(2) 相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(イ) 内容に応じた広報紙の作成 SNS等の活用による情報発信

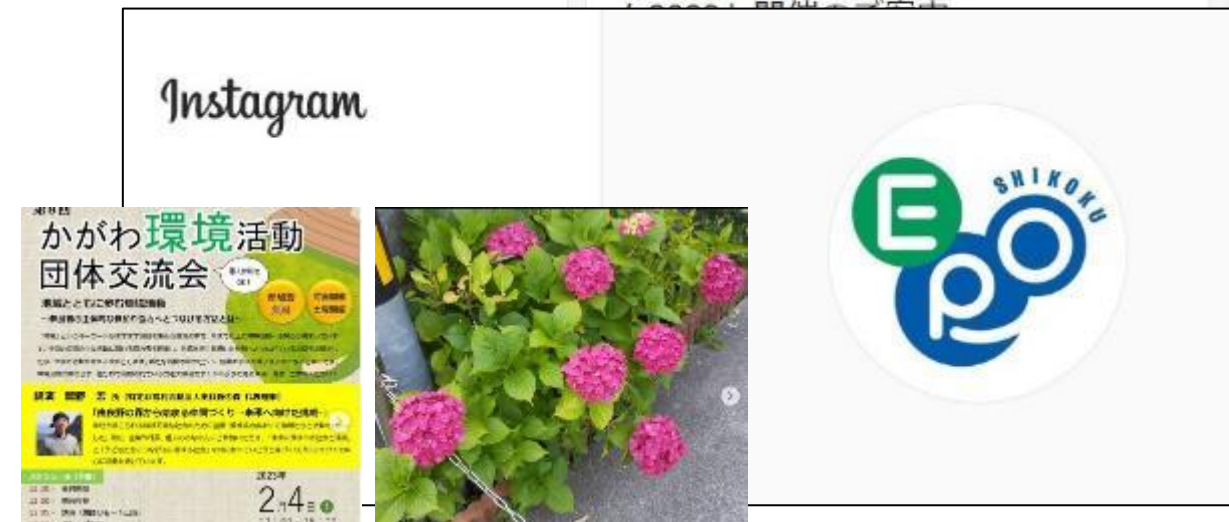
■ Facebook(フェイスブック)

- ・ 投稿件数 56件(平均4件/月)
- ・ ページフォロワー数 708人
- ・ 記事「リーチ」合計数 10,264人(平均855人/月)



■ Instagram(インスタグラム)

- ・ 投稿件数 23件(平均1件/月)
- ・ フォロワー数 72人



(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(イ)内容に応じた広報紙の作成 SNS等の活用による情報発信

四国で進む地域循環共生圏を活用した持続可能な地域づくり

環境省では、地域の活力を最大限に発揮し、持続可能な地域づくりにつながる「地域循環共生圏」の創造に連携して取り組む活動団体を公募しました。四国からは3団体が採択されました。コロナ禍は、自分の暮らしがどのように支えられているかを考える機会となりました。そして、地域で共有されている食料や自然の豊かさ等、地域の良さを見つめ直す機会にもなっていると書かれています。今回の取組では、さまざまな仲間とつながることで地域の魅力や資源を活かし、環境・経済・社会の課題解決を行うことで、環境で地域を元気にする取組が進められます。

1 地域循環共生圏とは？
環境省は、環境・経済・社会の課題の同時解決と、地域資源を活かし持続的に発展させることで、岡山県からも持続可能な社会を実現するための新しい理念として、「地域循環共生圏(ローカルSDGs)」を提唱しました。地域資源を活用した新たなビジネスの創出や、農林漁業等の農業種間の協働による取組が、各地で行われています。

2 かみかつ茅葺き学校 (活動地域：上勝町八雲地集落)
活動テーマ：山のめぐみを活用した集落の豊かな暮らしの持続
美しい山並みの景観を守るためにかみかつ民家・八雲地茶屋を拠点に、田んぼの管理から集落の維持を学ぶ百姓プログラムの実施や、町内循環を活用した体験づくり、新たなオンラインイベントとのコミュニティビジネスを展開していく予定です。また、継続的な資金作りや人材育成にも取り組んでいます。

3 NPO法人大月地域資源活用協議会 (活動地域：大月町)
活動テーマ：地域資源の価値を持続可能な形で伝え、豊かに暮らす
NPO法人大月地域資源活用協議会を中心に、大月町の豊れた地域資源を活かし、個人で取り組んでいた活動をつなぎ、大月の自然と共存・保全しながら人と関わりあいがはらばららしている町を目指して、取組を進めています。今年度は、森のようちえん、伝統活用学習会など、山に興味を持つ人を増やす事業に重点を置き活動する予定です。

4 NTTコミュニケーションズ(株) 四国支社 (活動地域：亀北町)
活動テーマ：コワーキングスペースを核とした交流人口拡大
本年5月にオープンした1床水駅に隣接するコワーキングスペースをベースに、人の流れなどのデータ分析を行いながら、交流人口を拡大する取組を進めます。コワーキングスペースの活用やワークショップの可能性を学び、先進的な取組の視察などを通して、亀北町の地域資源を活用したコンテンツの形成を図ります。




四国の森・里・川・海の今、そしてこれから。

「生物多様性保全の新たな展開を探る！新しい保全地域-OECMとは」をテーマに開かれた、「四国 森里川海推進ネットワーク形成会議」をレポート！
現場ではなにが行われているの？これからどんな展開があるの？...
おもしろいお話をたくさん聞くことができました。
※2022年11月18-19日、もみじ園温泉と橋本荘(徳島県伊予郡新居町)にて開催。

基調講演
新たな保全地域OECMとは？
地域にOECMを創出するために

徳島より田村隆雄氏
徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授
●橋本林業(新居町)の施策による
森林環境調査報告
さまざまな課題の克服と上へへの取り組み以上の
広範囲が活用し、約2.5ヘクタールの狭い
作業者が年間数回で実施されています。取組による
水質改善効果も、豊かな自然環境の維持
に、高水質に強い森林となっています。

高知より谷川徹氏
農と生きもの研究所 代表
●農地の生物多様性保全と
有機農業の優位性について
「みどり」の権利システム構築で有機農業の環境
割合を25%に拡大する計画が示されています。農
業政策も注目しています。OECMも政策的な
決りから、定額補助金の増加、慣行農地の
転換などの動きが期待されています。

高知より高川晋一氏 (公財)日本自然保護協会 OECMタスクフォース 副会長
道家晋平氏 (公財)日本自然保護協会 保全研究部
自然資源保護課長兼日本委員会(UICN-J)副会長
森林と海産物の30%で生物多様性が保全された地域を導き出すため、国内
でも2023年度からOECM認定が始まります。身近な自然が実例が
ある中、この仕組みを活用し、地域、学校、企業、自治体が一層になって、イ
ンターベンティブの取組による、地域資源の持続可能な活用を進めましょう。

川
ため池
愛媛より松井孝光氏
(特許)森からつづく道 理事長
●ため池管理によって保全される
農地の生物多様性
絶滅危惧種オオトビが生まれやすいため池で中
間から年間調査し、右側の水質調査が、中絶が生
活史の各段階に必要とする環境を創出している
ことを確認。ため池管理への情報提供や学校
との連携などを通して、保全を目指しています。

海
30by30目標って？
気候・損失を減らす生物多様性
を2030年までに保護の軌道
に乗せるために設定が検討され
ている国際目標。「2030年
までに陸域と海産物それぞれ
30%を保護地域にする」とい
うものです。

香川より吉原健司氏
香川 橋本林業(新居町)環境調査グループ 副会長
●人材育成から展開する
「かがわの里海づくり」
農が抱える課題を解決するために「里海」づ
くりを進めています。そのベースが人材育成。平
成28年開始の「かがわ里海大学」で、あらゆる世
代に向けて数々の講座を開き、そこから集まった
「かがわ里海が子」の方々が登場しています。



しこくえぽ「2022年夏号Vol.31」
プラットフォーム採択団体の紹介

しこくえぽ「2022年秋冬号Vol.32」
イベント報告(OECM勉強会)

(2) 相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(ウ) 四国地域の協働取組、地域循環共生圏関連、ESD等の先進的・優良事例の収集・発信

LS四国の記事 【徳島県】 © 2022/12/27

持続可能な森林経営が多面的な生態系サービスを創出 橋本林業

橋本林業は、徳島県の那賀川中～上流域において明治40年ころから植林を始め、4代続く専業の自伐林業であり、現在は家族3人が経営・経営を行っています。

本年度、環境省による「30by30目標」の達成に向けた「OECM」の認定・管理を執行する自然共生サイト（前期）に参加、審査委員から認定に相当すると評価されており、生物多様性保全の観点からも注目を集めています。

※「30by30目標」
気候・損失を続ける生物多様性を2030年までに恢復の軌道に乗せるために設定が検討されている国際目標で、「2030年までに陸域と海域それぞれの30%を保護地域にする」というもの。

※OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）
「その他の効果的な地域をベースとする手段」と訳され、自然公園・鳥獣保護・保護林などの既存の保護地域ではないが、効果的な生物多様性保全が行われている場所、すなわち「人と自然との共生地域」を指します。

本年11月、山林を歩きながら具体的な取組についてご説明いただく機会を頂きました。

橋本林業では、所有する約113haの山林を10等分し、毎年10ha程度に間伐を行うことによって複層林を創出し、平均樹齢は80年程度とのこと。真っ直ぐに育った立派なスギに並び、シイの高木も多く見られ、一般的な人工林の風景とは大きく印象が異なります。「台風や嵐、雨対策として、見頃は寒さを感じるような、自然をしっかりと観察して遊べるように心がけています」。スギ林の感度にケロモジも多く生育し、見上げると樹冠から光が入り込み、気持ちのよい森となっています。



■高密度に作業機が敷設され、間伐が行き届き、多様な樹種の人工林に整備されています。

日本語・英語・
中国語で発信



【雑誌取材対応・取組紹介】
LS四国や四国の先進的な取組を紹介したいという申し出に対して、関係主体とともにヒアリングに対応した。
(コロンブス6月、7月号)

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

イ 情報収集・発信

(ウ)四国地域の協働取組、地域循環共生圏関連、ESD等の先進的・優良事例の収集・発信

【発信を行うにあたり配慮した点】

テーマに沿った内容+各自可能な実践の紹介、四国や全国等、トレンドを含めた幅広い情報



4月6日 RNCラジオ出演
(香川県高松市)



12月「ゼロカーボンシティ展」展示
(香川県高松市)

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

ウ 対話の場づくり

【配慮した点】

活動団体を中心とした対話の場づくりに、多様な主体が地域や場所を問わず参画できるように、オンラインを活用し、コロナ禍で希薄化したつながりを醸成する機会づくりを行った。



11月2日 地球環境基金助成金説明会
(オンライン)※四国EPOは協力

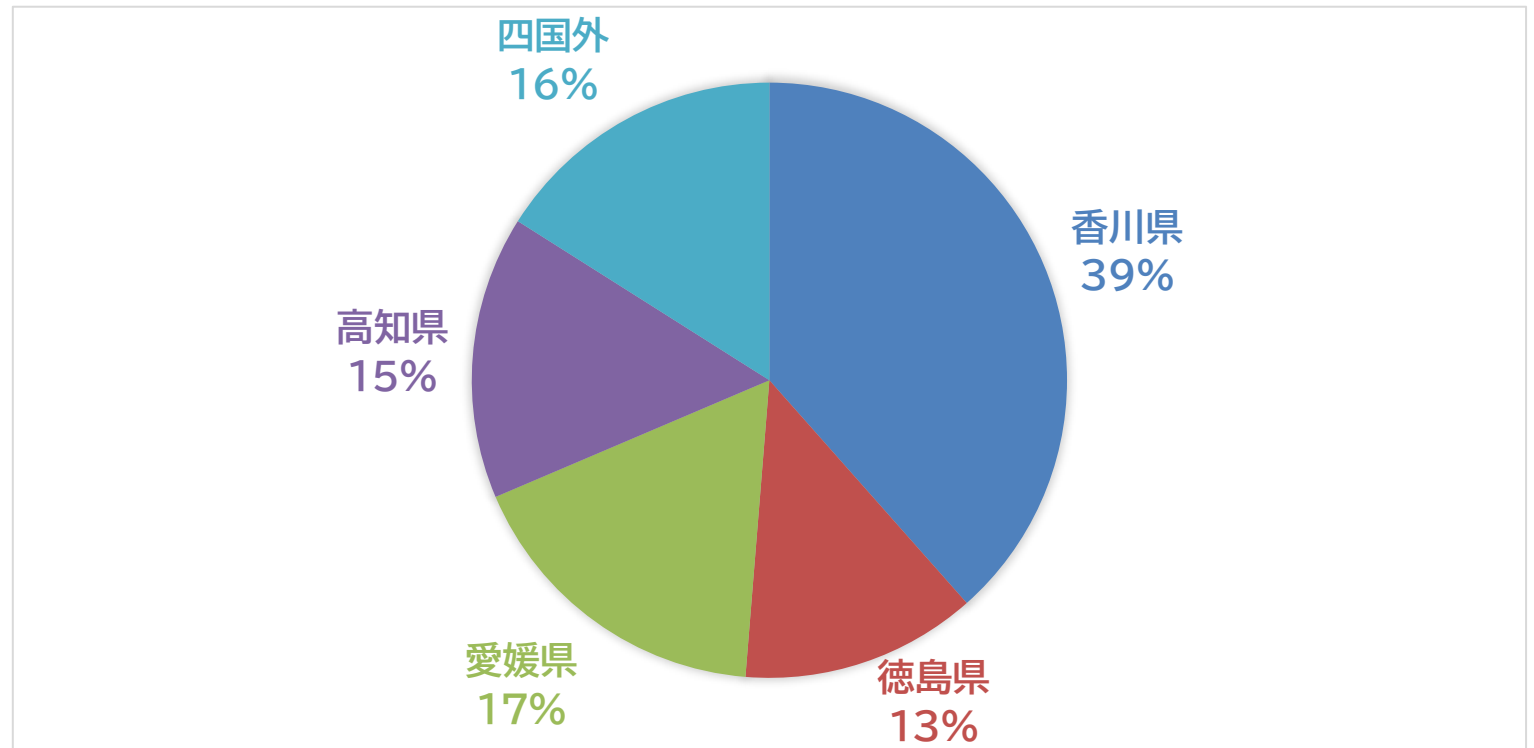


2月22日 C7勉強会
(香川県高松市とオンライン)

(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

(相談のあった地域の内訳)

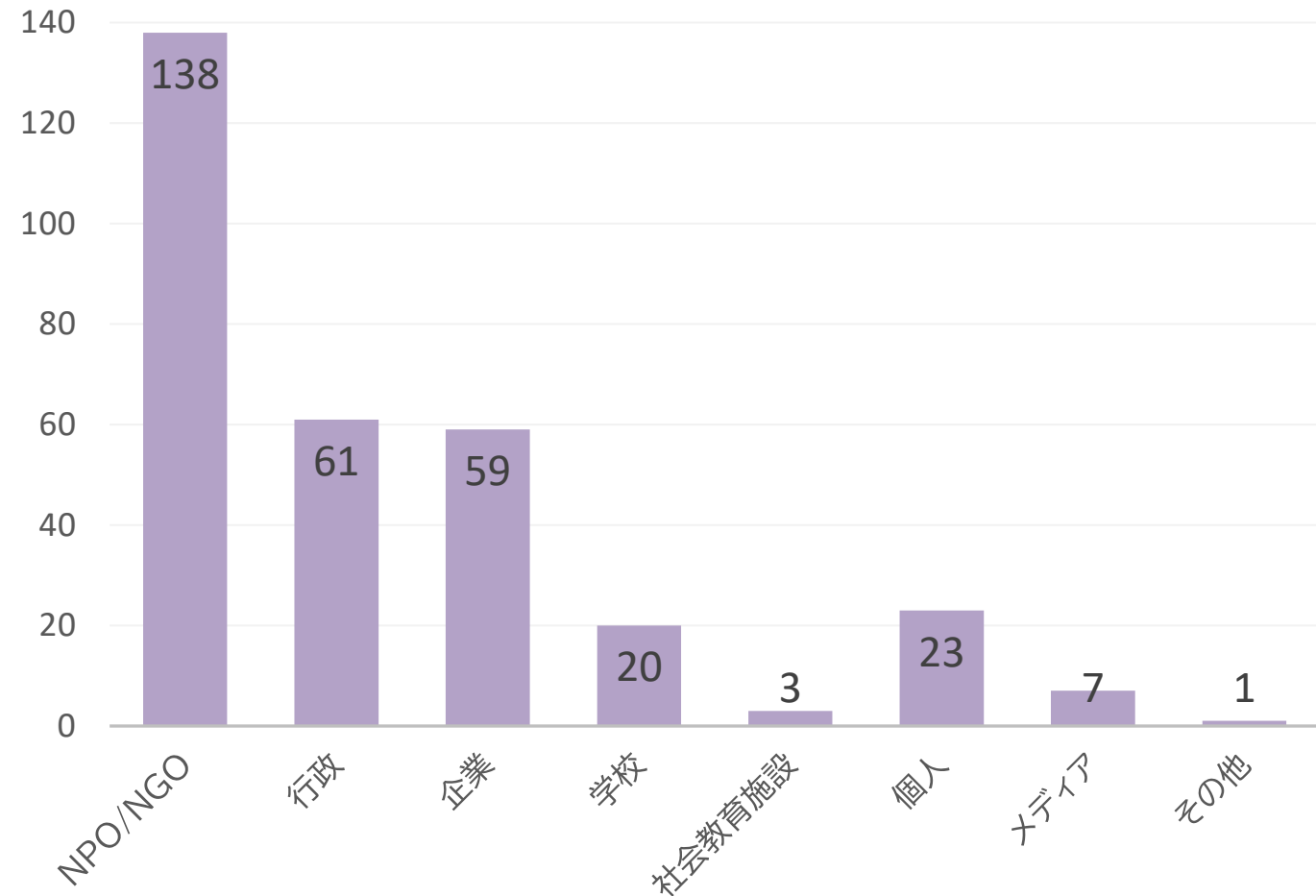
香川県	120
徳島県	40
愛媛県	54
高知県	48
四国外	50
合計	312



(2) 相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

(相談のあったセクターの内訳)

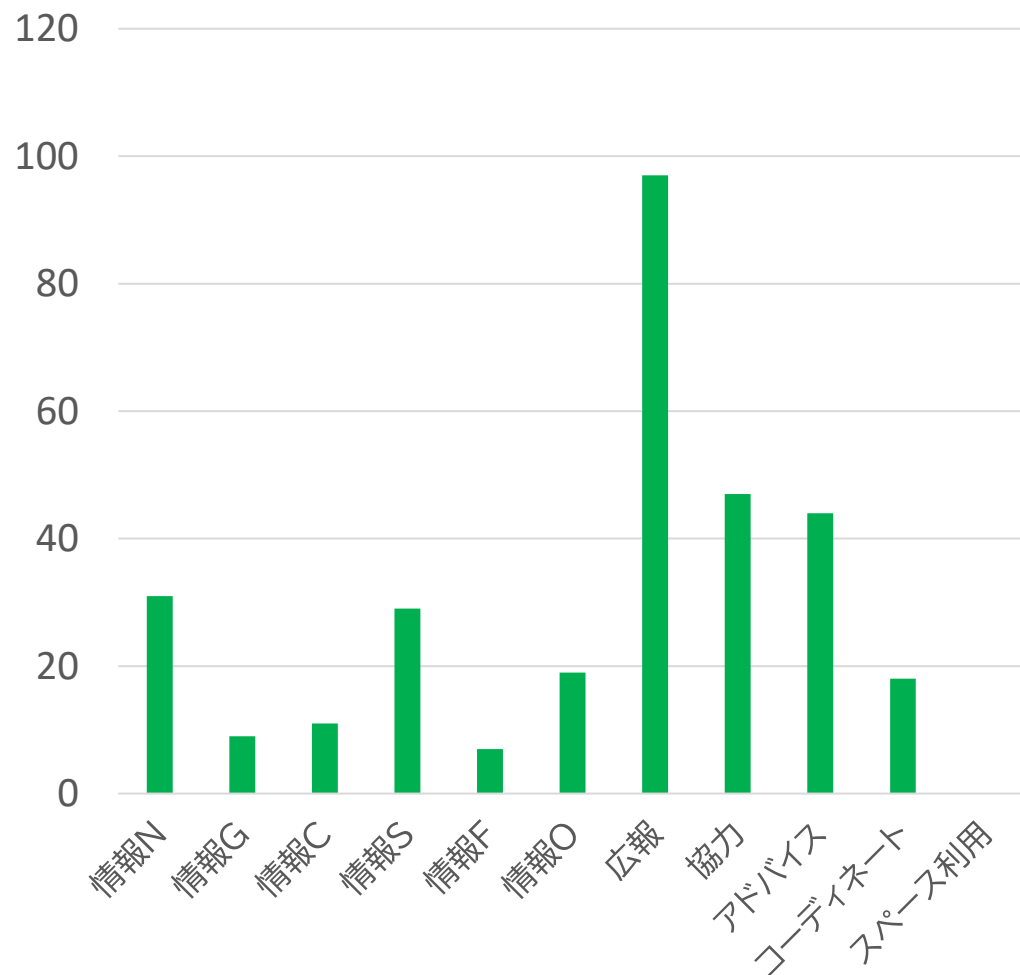
NPO/NGO	138
行政	61
企業	59
学校	20
社会教育施設	3
個人	23
メディア	7
その他	1
合計	312



(2)相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

情報N NPO等(個人含む)に関するもの	31
情報G 行政に関連するもの	9
情報C 企業に関するもの	11
情報S 専門的なもの	29
情報F 助成金や資金調達に関するもの	7
情報O その他	19
広報	97
協力	47
アドバイス	44
コーディネート	18
スペース利用	0
合計	312

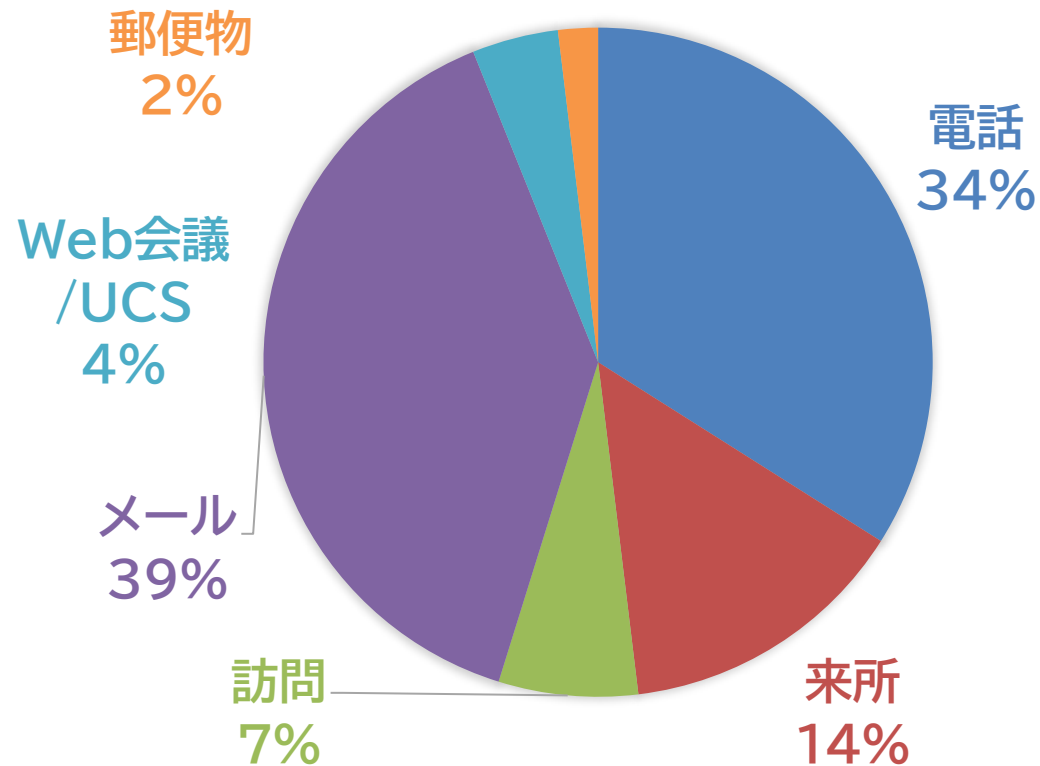
(相談要望の内訳)



(2) 相談対応、情報収集・発信及び対話の場づくり、 四国地域の優良事例発信

(相談時のアクセス方法・手段)

電話	106
来所	44
訪問	21
メール	122
Web会議 /UCS	13
郵便物	6
合計	312



(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

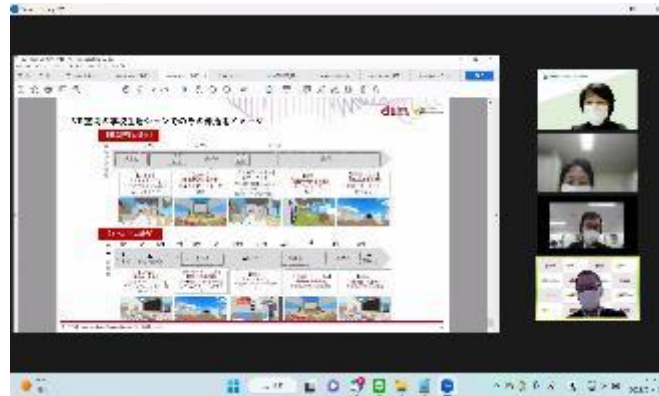
環境省本省が公募選定した採択団体(2団体)に対する伴走支援

NTTコミュニケーションズ(株)四国支社(活動地域:鬼北町)

「コワーキングスペースを核とした交流人口拡大」



4月21日
ヒアリング
(愛媛県鬼北町とオンライン)



毎月開催
PF事業(鬼北町)
定例会



10月6日
コ・ワーキングスペースおよび
サテライトオフィスの活用学習会・
意見交換

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

環境省本省が公募選定した採択団体(2団体)に対する伴走支援

NPO法人大月地域資源活用協議会(活動地域:大月町)

「地域資源の価値を持続可能な形で伝え、豊かに暮らす」



4月20日
ヒアリング
(高知県大月町)



毎月開催
PF事業(大月町)
定例会

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

事業主体の大月町と鬼北町の取組発表の後、2グループに分かれ「事業推進にあたっての課題、地域の人との関係性づくり」をテーマに意見交換を行った。



11月22日
PF事業中間共有会
(高知県大月町)



3月8日、9日
成果共有会
(東京都渋谷区)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

ア 環境で地域を元気にする地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

事業化支援団体

「かみかつ茅葺き学校」に対する 進捗状況の把握

卒業団体のフォローアップ調査



8月16日
かみかつ茅葺き学校訪問
(徳島県上勝町)

10月21日
(特非)とくしまコウノトリ基金
(オンライン)

1月16日
(特非)84プロジェクト
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

企画・運営委員会の運営体制

(令和4年4月時点)

2021年2月17日に設立したプラットフォーム「ローカルSDGs四国(LS四国)」の運営を行う

共同代表

近森 憲助 (高知学園大学学長、鳴門教育大学名誉教授)
常富 豊 (中国四国地方環境事務所四国事務所長)

副代表

島田 治男 (香川県中小企業家同友会副代表理事)
小林 秀弥 ((独) 国際協力機構四国センター (JICA四国) 所長)

谷川 徹 (四国生物多様性ネットワーク事務局)
笠井 誉子 ((株) r e クラレット代表取締役、(特非) 徳島の女性を元気にする会理事長)

委員

徳島県危機管理環境部グリーン社会推進課長
香川県環境森林部環境政策課長
愛媛県県民環境部環境局環境政策課長
高知県林業振興・環境部環境計画推進課長

事務局

中国四国地方環境事務所四国事務所
四国環境パートナーシップオフィス

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(ア) LS四国の企画・運営委員会及び総会

LS四国規約に基づき、会を運営し、企画及び運営に必要な事項について役員への承諾を得て進めた。



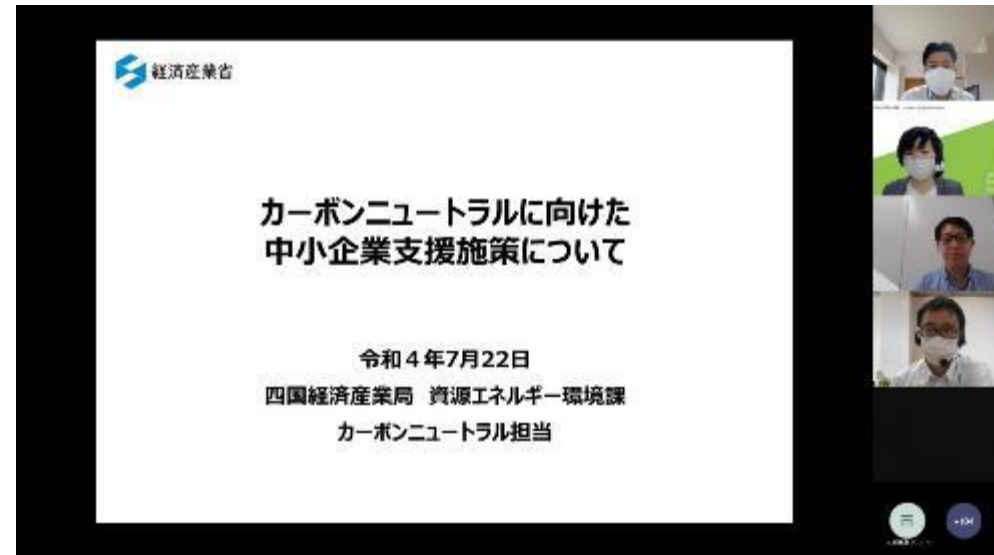
5月20日、10月21日
「企画・運営委員会」開催
(オンライン)

7月7日
「LS四国令和3年度総会」開催
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(イ) 森里川海推進ネットワーク形成会合及びフォーラムの開催

四国各県の企業の脱炭素やSDGsにおける自社事例の発表後、司会が進行する形で質疑応答を行い、取組の背景等を深掘りする機会となった。また、各省庁による助成金等の支援施策も紹介した。



7月22日
LS四国地域脱炭素推進フォーラムin四国
(オンライン)

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(イ)森里川海推進ネットワーク形成会合及びフォーラムの開催

環境省担当者からのOECMを巡る動向の説明、四国各県で森里川海の保全に寄与する取組の事例発表により、持続可能な地域づくりを見据えた地域におけるOECMのあり方を考える機会となった。



11月18日
森里川海ネットワーク形成会議
(徳島県那賀町、オンライン)



11月19日
橋本林業現地視察
(徳島県那賀町)

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(ウ)表彰制度の実施

LS四国のビジョン・行動指針の内容に即し、ローカルSDGs(地域循環共生圏)の考え方に資する優れた事業・取組を表彰し、広く紹介することを目的に募集を行い、審査会を経て、賞を選定した。

第2回 ローカルSDGs四国表彰 募集

●募集期間●
令和4年12月1日(木)～令和5年1月6日(金)
(消印有効)

魅力ある持続可能な四国づくりにつながる、すぐれた取組を募集!

昨年開始された「ローカルSDGs四国表彰」は、LS四国のビジョン・行動指針の内容に即し、ローカルSDGs(地域循環共生圏)の考え方に資する優れた事業・取組を表彰し、広く紹介することを目的に募集を行い、審査会を経て、賞を選定した。今年度も引き続き優れた取組を募集し、持続可能な四国づくりにつながるすぐれた取組を募集します。応募方法等詳細は募集要旨をご覧ください。

ローカルSDGs(四国)とは…

LS四国が掲げる「持続可能な四国づくり」の方向性を、具体的な取組として実践し、社会・経済・文化・環境の持続可能性を高め、地域循環共生圏の創造に資する取組を募集します。応募方法は、募集要旨をご覧ください。

LS四国の取組方針

ローカルSDGs(地域循環共生圏)

大賞と各部門賞、審査委員特別賞を決定! 表彰状・副賞を贈呈します。

ローカルSDGs四国 大賞 部門賞(5部門) 審査委員特別賞

主催:ローカルSDGs四国
共催:日本経済産業省ESD推進センター(北前SDセンター)、ESD推進センター

第2回 ローカルSDGs四国表彰 募集要旨

1 募集対象

- LS四国の会員または地域循環共生圏に関心のある団体内の個人を募集。
- 2年以上の経験年数にわたる継続した取組があること。
- 自治体・企業・個人・NPO等の協働による取組であることを重視する。
- 過去に表彰する賞を受賞した団体は、翌年度の応募を審査対象とします。
- 第1回ローカルSDGs四国表彰の応募団体は、応募内容と同一内容の取組は応募対象としませんが、同一内容の取組は応募対象となります。

2 表彰内容

①ローカルSDGs四国大賞
表彰状及び審査委員特別賞(副賞)の贈呈、マスコットの提供。

②各部門賞(5部門)
表彰状、副賞(ポスター、パンフレット、グッズ)の提供。

③審査委員特別賞

3 応募方法

応募シートに必要事項を記入し、3分以内のプレゼンテーション動画(1分)を添付し、LS四国事務局まで電子メール、FAX、郵便のいずれかの方法で送付してください。

募集期間:令和4年12月1日(木)～令和5年1月6日(金)(消印有効)

応募シートのダウンロードは右のQRコード、または下記URLからダウンロードできます。
(https://lca459.net/7p-3773)

◆提出・お問合せ先

ローカルSDGs四国事務局
〒760-0023 香川県高松市南町2-1-1 高松第一生命ビル新館3F 四国EPOIN
TEL:087-836-2232 FAX:087-833-5076 E-mail:info@lca459.net

4 審査項目

- 1) 総合
地域循環共生圏の考え方に即した事業・取組が
- 2) 活動の質が高い
多様な主体を巻き込んだ活動があるか
- 3) 持続性の取組
持続可能な取組であるか、将来も継続できるか
- 4) 地域への貢献
地域の課題解決や新たな価値創造により、地域に貢献しているか
- 5) 社会的・公益性
環境・経済・社会に幅広い地域課題を同時解決の期待されるか、課題解決のヒントを提供しているか
- 6) 先進性の取組
日本をリードする取組の取組があるか
- 7) 人材育成の取組
個人や団体の育成・育成しているか
- 8) 継続的なイベント
継続的なイベントの取組の取組があるか

5 審査方法

LS四国役員と構成委員による審査会にて、LS四国事務局を基に審査委員の意見を踏まえ、受賞者を決定します。

このシートによる審査会開催の目的は、必要に応じて、応募シートに関するインタビュー等のヒアリングを実施することです。

可決後の取組に対する場合は、一度は併用します。

6 受賞団体の公表及び表彰

受賞団体は、LS四国のホームページに公表します。また、受賞団体に対してLS四国より表彰状を贈呈し、表彰式も、令和5年2月に開催予定です。



1月30日
第2回LS四国表彰審査会
(オンライン)

(3) 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(ウ) 表彰制度の実施 「第2回ローカルSDGs四国表彰式」開催(2月22日)

基調講演、受賞団体による事例発表と表彰の授与を行った。



基調講演

「地域で、みんなで、持続可能な四国を！
～SDGs達成につながる実践と連携～」



【大賞】

愛媛県立長浜高等学校による
発表

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(ウ)表彰制度の実施 「第2回ローカルSDGs四国表彰式」開催(2月22日)



**ローカルSDGs四国大賞
ユース部門賞**
「長高水族館」
愛媛県立長浜高等学校



受賞団体による記念撮影

今年の賞状も、高知県立伊野商業高等学校の協力を得て作成した土佐和紙を使って作成しました。

地域課題解決部門賞
「木や森林を活用した
林業6次産業化事業」
株式会社那賀ウッド(徳島県)

チャレンジ部門賞
「瀬戸内海のマイクロプラスチック汚
染調査とその対策に向けた研究」
愛媛大学附属高等学校 理科部
プラガールズ(愛媛県)

審査委員特別賞
「SDGsを通して持続可能な世の
中を次世代に繋げていく
社会作り」
株式会社パブリック(香川県)

審査委員特別賞
「ブナの森づくりプロジェクト」特
定非営利活動法人由良野の森
(愛媛県)

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 イ 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(エ)LS四国の事務局の運営

- 掲載数:488件
(平均40件/月)
- 閲覧ページビュー数(累計)
55,138件
(平均4,594件/月)



The image shows a screenshot of the 'Local SDGs Shikoku' website. The top navigation bar includes links for 'Local SDGs (Local Circulatory Symbiosis Circle) and Local SDGs Shikoku', 'Member Information', 'Sub-committee', 'Cooperation Organization Information', 'Advisor Information', 'Issue Resolution Support Team', 'Joining / Sub-committee Registration', 'Event / Grant Information', 'Event Calendar', and 'Inquiry'. Below the navigation is a banner image of a river with mossy rocks. A news article titled 'Local SDGs Shikoku - Introduction of Partner Organization Video Released' is visible, dated February 21, 2022. To the right, there is a social media post from the 'Local SDGs Shikoku' Facebook page, showing 1,473 followers and a share button.

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(エ)LS四国の事務局の運営



新規会員の登録作業、LS四国会員のメリットとなる企画や運営、分科会活動の支援等を行った(2023年3月27日時点:会員数は、団体173団体(+98)、個人4名(+1)、協力機関15機関(+1)、アドバイザー3名。※2022年3月8日データと比較)。

LS四国の入会（会員登録）をお願いします！

会員になると（以下、一例を示す）

- **情報収集・共有・発信ができます！**
 - ・国などの補助金の情報がタイムリーに届きます。
 - ・SDGs・地方創生等の取組の情報が知れます。
 - ・自団体のSDGs・地方創生等の取組を発信できます。
- **マッチング・仲間作りができます！**
 - ・分科会活動で一緒に取り組む仲間ができます。
 - ・課題解決、取組促進に当たってのシーズを持った方との出合いの場を提供します。
- **会費は無料です。**
 - ※会員になっていただいた後の負担はございません。

会員登録はこちらから！！
以下のリンクもしくはQRコードの「入会申込書」に必要事項を記載の上、LS四国事務局 info@ls459.net までご提出ください。
https://ls459.net/?page_id=51

©LS四国. All rights reserved.

別紙2
LS四国入会申込状況報告(各県業種別累計)
*2023年1月24日時点の累計

業種	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	四国外	全国
NPO・NGO	2	4	4	4	0	14
サービス業（他に分類されないもの）	0	7	4	1	1	13
卸売業・小売業	0	5	2	1	0	8
金融業・保険業	4	7	5	3	0	19
建設業	1	3	4	4	0	12
公務（他に分類されないもの）	5	5	15	8	0	33
社団法人・財団法人	2	2	5	0	0	9
製造業	5	8	6	2	1	22
大学・教育機関・研究機関（独立行政法人）	2	2	2	1	0	7
医療・福祉	0	3	1	0	0	4
漁業	0	0	1	0	0	1
情報通信業	0	1	1	0	0	2
農業・林業	0	0	0	2	0	2
鉱業・採石業・砂利採取業	0	0	0	0	0	0
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0
運輸業・郵便業	0	0	0	0	0	0
不動産業・物品賃貸業	0	0	0	0	0	0
学術研究・専門・技術サービス	0	1	0	1	0	2
宿泊業・飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
生活関連サービス業・娯楽業	0	0	0	0	1	1
教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0
複合サービス業	0	0	0	0	0	0
分類不能の産業	5	9	0	3	1	18
合計	26	57	50	30	4	167

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 I 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

(エ)LS四国の事務局の運営

サイボウズ株式会社が運営する「kintone」の使用方法などを伝えるセミナーを開催。会員の自発的な発信から、円滑なコミュニケーションや連携の強化が期待できる。



7月～1月
kintone活用セミナー開催
(オンライン)※計7回、計8名参加

11月8日
南海トラフ地震香川液状化対策コンソーシアム
との意見交換
(オンライン)

(3)地域循環共生圏の創造に資するための推進業務 地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化事業

配布数:2200部
+オンライン)

(エ)LS四国の事務局の運営

2022年前半の活動をまとめた3号を作成し、会員や中間支援組織等に送付した。

3 他団体主催会議及びEPOネットワーク関連会議等への参加 (1)全国



1月20日
令和4年度第2回中国・四国ブロック会議
(オンライン)



6月14日、1月24日
令和4年度第3回全国EPO連絡会
(オンライン)

3 他団体主催会議及びEPOネットワーク関連会議等への参加 (2)地方



11月26日
令和3年度四国地域エネルギー・温暖化
対策推進会議幹事会
(オンライン)

12月21日
第7回全国ユース環境活動発表大会
四国地方大会審査会
(オンライン)

12月23日
令和4年度第1回地方EPOネットワー
クとの情報交換会
(オンライン)

体制図

